

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 人と動物 (猫と犬) が共生する環境づくりについて</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>ペットの無責任な飼育放棄や虐待等が社会問題になっている中、動物の愛護及び管理に関する法律 (通称「動物愛護管理法」) が2019年6月に改正され、罰則が強化された。地域の問題、地域で解決を目指し、地域住民有志が中心となって、周辺住民の理解と協力のもとで、飼い主のいない猫に去勢・避妊手術をして、適性管理をしながら個体数を減らす地域ねこ活動の支援が全国の自治体で取り組まれている。人と動物が共生する社会を実現するため、「排除」から「共生」を目指し、質問する。</p>	<p>(1) 動物愛護管理担当職員について</p> <p>(2) 動物愛護センター等との連携について</p>	<p>① 動物愛護管理法が改正され3年が経過した。それにより、「動物の愛護及び管理に関する事務を行わせるため、動物愛護管理担当職員を置くように努めるものとする (努力規程)」ということが明確化された。認識と対応について伺う。</p> <p>② 市の対応として、地域住民からの相談・苦情等の原因となる飼い主のいない猫の有効な対策について、相談やアドバイスができる窓口の設置等、地域ボランティア・協力者等と連携がとれる関係性や話しやすい環境を作っていくことは重要と考える。認識と対応について伺う。</p> <p>③ みんなのための飼い主のいない猫対策として、先進自治体から学ぶことは重要と考える。行政向けセミナー等の開催も毎年開催されている。積極的に参加していくことも重要と考える。認識と対応について伺う。</p> <p>① 飼い主のいない猫に限らず、飼い猫の相談等の増加も懸念される。今後、動物愛護センター等との連携はさらに不可欠と考える。認識及び現状と課題を伺う。</p> <p>② 高齢化に伴い、独居高齢者が施設入所等により、飼い猫保護相談が地域包括支援センターから寄せられていると聞く。一方、伴侶動物 (コンパニオンアニマル) として心に安らぎを与える効果のある猫を飼いたくても自分より長生きする可能性があり、飼えない高齢者もいる。こうした現状を踏まえ、今後、動物愛護センター等との連携により、マッチングの仕組みに期待したい。見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(3) 地域ねこ活動の支援について</p> <p>* TNR活動：野良猫（飼い主のいない猫）の捕獲（Trap）、去勢・避妊手術を実施（Neuter）、元の場所に戻す（Return）活動。</p> <p>* 地域ねこ活動：地域住民の理解のもと、猫の繁殖制限・エサ・フン尿等の適正な管理を行いながら、野良猫（飼い主のいない猫）の数を減らしていく取組み。去勢・避妊を行なった猫は、片耳が桜の花びらの形になっている。</p>	<p>① 一般的に行政として補助・支援が必要な理由として、愛知県大府市では、「地域で猫対策を始めることができるよう、人と猫が調和する環境づくりや市民生活向上のための環境美化活動のために支援している。」としている。地域ねこ活動の成果として、「エサやり禁止では解決できない」「主観的・客観的に、苦情がなくなった」「地域力が上がった」「民度が高くなった」「地域とボランティアと行政の連携ができた（協働）」等が挙げられている。地域住民の理解を広げるための地域ねこ活動に対する理解の促進等の取組みは、できているのか。現状と課題を伺う。</p> <p>② 近隣市では、去勢・避妊手術費の費用補助がある。本市においても費用補助を提案したい。動物愛護管理法が改正になった現在にあっても、本市において未だ、補助・支援していない理由を伺う。</p> <p>③ 人と動物が共生する社会を実現するため、「排除」から「共生」を目指し、早急に、地域ねこ活動補助金、地域住民が協力できるよう自治会等での運営補助金や人と動物（猫と犬）との共生に関する条例等の推進及び地域住民への周知のためのガイドライン等の作成の提案をしたい。見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) クラウドファンディング等の活用について	① 動物愛護に関する施策を更に推進し、実質的殺処分ゼロの取組みをすることで「人と動物が共生できるまちづくり」の実現を目指したい。飼い主のいない猫に対する去勢・避妊手術費の費用助成の支援事業、譲渡動物へのマイクロチップ装着・登録、猫の一時預かりボランティア事業等の創設にあてることを目的に、クラウドファンディング等の活用とともに動物愛護基金の創設を提案したい。市の見解を伺う。

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 薪ストーブ利用の現状と課題について</p> <p><b>【質問趣旨】</b> 環境に優しい取組みと物価高騰による電気代高騰もあり、薪ストーブが脚光を浴びる一方で、煤煙被害による健康被害等が広がっているとの報道も聞く。本市も例外ではないと考える。野焼きは国で禁止となっているが、薪ストーブに関しての法規制はない。そこで、本市の現状と課題を踏まえ、薪ストーブの排煙規制等や薪ストーブに関する条例制定や煤煙対策のための設置費用の助成等を提案したい。本市の考え方を質問する。</p>	<p>(1) 薪ストーブの設置状況等について</p> <p>(2) 薪ストーブ煤煙被害等について</p> <p>(3) 薪ストーブ利用に関する注意喚起と支援について</p> <p>(4) 条例等の策定について</p>	<p>① 市内における薪ストーブの設置状況を知る方法はあるのか。設置する場合の基準や審査等はあるのか。本市の現状と課題を伺う。</p> <p>① 薪ストーブ煤煙被害等、市民からの相談件数等の推移及び現状と課題を踏まえ、どのように対応しているのか。本市の対応策の実例等を伺う。</p> <p>① 薪ストーブ利用に関する注意喚起として、先進事例を参考に、本市のホームページが更新された。こうした取り組みにより、我が事として、薪ストーブ利用者が自覚を持ち、正しく利用できることが重要である。薪ストーブ利用者への注意喚起として十分と考えていいのか。見解を伺う。</p> <p>② 当事者間で近隣トラブルに発展しないための支援として、必要なことはどのようなことと考えるのか。薪ストーブの管理規制等に加え、有害物質や煤煙を防ぐ装置の設置等の費用助成による支援も重要と考え提案をしたい。見解を伺う。</p> <p>① 薪ストーブ設置に関する条例等の策定及びガイドラインを示したガイドブック作成等の提案をしたい。どのような認識か。先進自治体を参考にすすめてはどうか。見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>3. 高齢者が生きがいを持って活躍し、支えあいにより、安心して暮らせるまちづくりをめざして</p> <p><b>【質問趣旨】</b>          高齢化に伴う介護需要の増大は、本市が直面する重要な課題の一つである。          2022年度版高齢社会白書によると、社会活動に参加した人の方が、参加していない人よりも生きがいを感じている割合が高い。          また、高齢者の聞こえの改善により認知症予防やフレイル予防が期待できるとの研究もある。介護予防の取組みとともに、介護サービスの支え手の裾野を広げる手だてが必要であると考え、都市像の実現をめざし質問する。</p>	<p>(1) 加齢性の難聴について</p> <p>(2) 国の交付金を活用した補聴器等購入補助制度の導入について</p> <p>(3) 介護ボランティアポイント制度の導入について</p>	<p>① 高齢者が耳の健康を保ち、自分らしく社会参加を続けられるよう、高齢者の聞こえの改善は重要と考える。高齢者の福祉向上と認知症予防が期待でき、コミュニケーション不足の解消やフレイル予防にもなるとの研究もある。加齢性の難聴に悩む高齢者の現状について課題を踏まえその対策を伺う。</p> <p>① 介護予防事業の推進等の取り組みを幅広く支援する「保険者機能強化推進交付金」を活用し、加齢性の難聴に悩む高齢者に補聴器等購入補助の財源確保している自治体がある。介護予防事業と連動する形で、希望する高齢者へ補聴器購入に対する費用補助の支援を提案したい。見解を伺う。</p> <p>① 介護予防事業とともに、介護サービスの支え手の裾野を広げる手だてが、今後も重要である。本市の取り組みの現状と課題を伺う。</p> <p>② 2007年に全国ではじめて介護ボランティアポイント制度が東京都稲城市で導入され、65歳以上の住民を対象に介護施設等で活動してもらい、ポイントに応じて年間最大5000円が支給された。その後、同制度は、自治体ごとに参加対象年齢や交換できる商品等、地域の実情に応じて工夫を凝らしている。参加者本人の介護予防や介護給付費増大の抑制になるだけでなく、ポイント利用が地域活性化に繋がるとして実施する自治体が増えている。本市のめざす都市像、高齢者が生きがいを持って活躍し、支えあいにより、安心して暮らせるまちづくりを達成するためにも、本市においても同制度の導入を期待したい。見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。